

## 第5学年 「総合なかよし」学習指導案

### 1 単元名「さいたま市どまんなか 河童の森」

### 2 単元について

#### 児童の実態

本学年は、元気いっぱい外遊びをしたり、自分の考えを進んで発表したりするなど、積極的な面が多くみられる。また相手の立場になって、思いやりをもった態度で友達に接することができる児童もいる。その反面、自分の気持ちを相手に上手く伝えられず、友達とトラブルになるケースもある。

放課後や休日には、近くの公園で遊んだり、ザリガニ釣りをしたりと自然に親しむ姿が多くみられる。しかし、地域にある自然が多くの人々の努力によってつくられたり守られたりしていることには気付いていない。

また、理科の学習ではメダカ、飼育委員会ではウサギの世話に熱心に取り組んだり、学校の植物を大事に育てたりなど、生命を尊重する様子も伺える。しかし、見通しを持って継続的に世話をする、状況に応じて必要な判断をするなどの力が育っていないように感じられる。

そこでこの学習を通してコミュニケーション力を高め、身近な自然環境について見通しをもって調べて見つけなおす力や、課題や疑問に対して自ら関わっていくことのできる力を育てていきたい。そして、児童一人ひとりが自分のよさや可能性に気づき、自分の人生や将来について考えていくことができるような活動を展開していきたい。

#### 単元の特性

本校は、さいたま市の中核となる市役所があり、様々な都市機能が集中する地域を学区としている。学区内はマンションが立ち並び、ほとんどの子どもはマンション住まいであり、新しく転入してきた家庭も多い。

大都市にある人間関係の希薄さが見られる一方で、人のぬくもりのある温かな町を育てていこうとしている人たちもいる。その大都市の中の、まさにさいたま市のだ真ん中に豊かな木々が生い茂った大自然「河童の森」がある。1年生のときは、生活科の学習で、昆虫採集に行っている。また、身近な遊び場所として、ザリガニ釣りや魚釣りなどを楽しんでいる児童もいる。

この河童の森では、「こうぬま水と緑を楽しむ会」の方々が様々な活動をし守っている。自分たちにとっての身近な遊び場である河童の森が、この場所を守ろうとしている人々の存在があるからこそ残されてきていることに気付かせたい。また、その方々と共に活動をすることで、その思いに気づき、共に守っていく気持ちを醸成していきたい。また、河童の森での活動を通して、自らが住む地域の環境をよりよくしていく意識をもち、自分でできることを考え、実践できる児童を育てていきたい。

今回は最初に、河童の森に行き、「こうぬま・水と緑を楽しむ会」の方々から、河童の森の成り立ちや歴史について話を聞き、見て回り、興味・関心を抱いたものについて課題を立てる。そこから調べを進めて計画を立て、ゴミ拾い、川の浄化活動、広報活動などやってみよう活動をする。中間発表をし、活動を見直し、河童の森ですらにできることや普段の生活の中で環境を守るためにできることを新たな課題とし、実践を通して解決策を追究する。最後に実践の結果を4年生に伝え、来年度も継続して活動を行い、地域社会の一員としての一歩を踏み出していけるような学習となることを目指したい。

### 3 研究の視点

#### 研究主題

自分の考えをもち、共に学び合う子どもの育成  
身近な「ひと・もの・こと」とかかわり合いながら、自己の生き方を考える子をめざして

研究の視点1：気づき・発見・かかわりと繰り返しを意識した単元計画の構成と「ひと・もの・こと」  
を意識した地域の教材開発

#### 手立て① 探究的に積み上げる単元計画の工夫

河童の森と出会い、自分たちでできることに取り組もうと一人ひとりが課題をもつ。そして、自分たちでできることの活動を一度行う。その後、うまくできたこと、うまくできなかったこと、続けて行うとよいことについて考える場を設ける。そして、河童の森での活動の経験から、さらに身近な環境に目を向けさせ、新たな課題設定へとつながる単元の計画を構成する。

#### 手立て② 「ひと・もの・こと」と地域に意図的にかかわらせる工夫

「こうぬま・水と緑を楽しむ会」の方の活動に触れ、身近な緑地空間である河童の森について、楽しむ会の方とともに活動する場を取り入れる。

研究の視点2：「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」場面における子ども  
につけさせたい力（目標）の明確化と指導・評価の工夫

#### 手立て③ 課題解決をするための資質や能力を高める指導の工夫

「こうぬま・水と緑を楽しむ会」の方から河童の森についての概要を聞いたり、鴻沼用水に関する歴史を学んだり、都市部の自然が人の手が入らないとどうなってしまうがちなのかを知る場を設けたりすることで、地域の身近な自然環境を守るために自分にできることはないかという課題意識をもたせる。

それぞれの課題を解決するには、様々な情報を整理、分析することが必要である。その手法を繰り返し実践できる場を設定し、課題を解決するための資質や能力を育てていく。

#### 手立て④ 自己の生き方につながるまとめと評価の工夫

4年生へ活動の報告をする場を設けることで、自分達が実践してきたことを振り返ったり、価値の再認識をしたりする機会とする。

さらに、継続して河童の森にかかわり守っていこうと考えたり、日常生活に関わる環境を守っていく活動を通して、自己の生き方を見つめられるようにする。

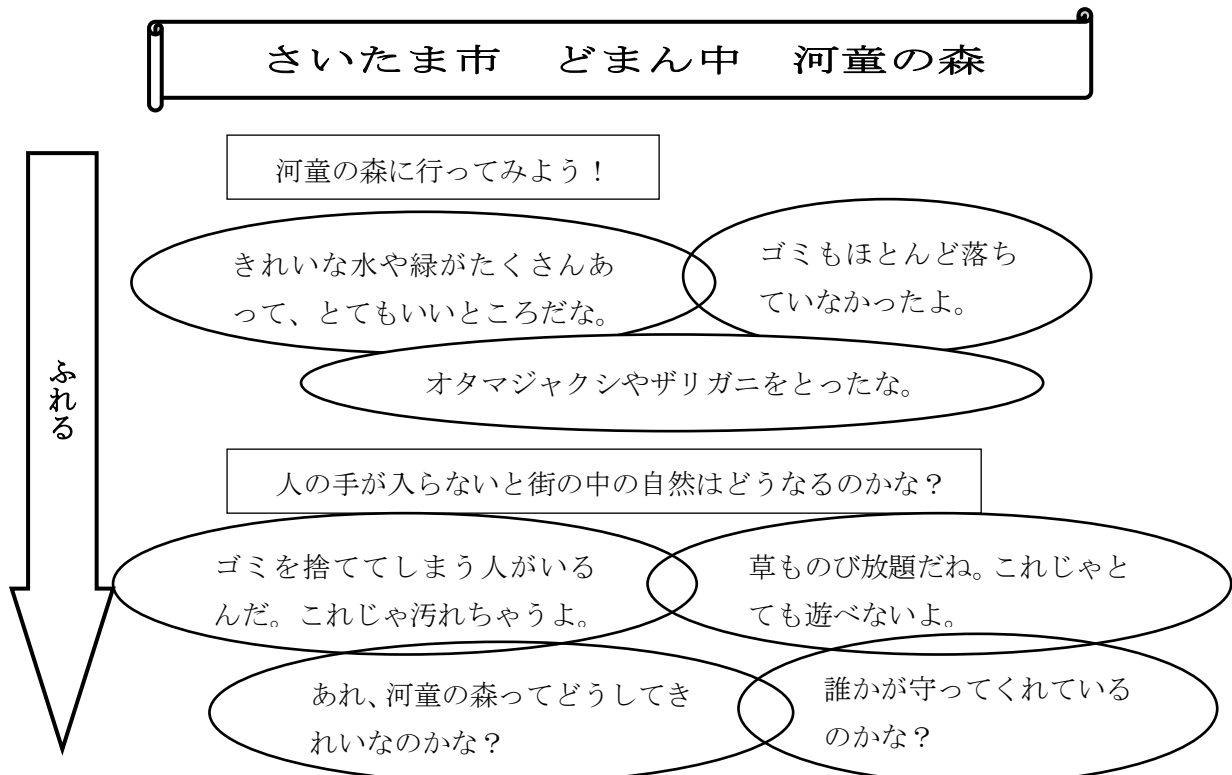
### 4 単元の目標

- 河童の森と河童の森にかかわる人の話から環境の問題に気づき、それを課題として自然に積極的にかかわり、問題解決していく中で、環境を守ると共に、よりよい環境をつくり、自然と共存していこうとすることができる。

5 単元の評価規準

育てたい資質や能力及び態度	学習方法に 関すること	<p>【①課題設定 ②収集分析 ③思考判断 ④表現省察】</p> <p>①河童の森が、どのようにして地域の中で受け継がれてきたかを学び、自分自身がそれにどのように関われるかを考えることができる。</p> <p>②課題解決のために、必要な情報を集めることができる。</p> <p>③集めた情報から、環境保全や、今後の環境作りなどを考えていくことができる</p> <p>④集めた情報を、相手や目的に応じてわかりやすくまとめて、伝えることができる。</p>
	自分自身に 関すること	<p>【⑤意思決定 ⑥計画実行 ⑦自己理解 ⑧将来展望】</p> <p>⑤河童の森のために自分たちができることを考え、責任をもって意思決定することができる。</p> <p>⑥河童の森のために自分たちができることを実践し、課題の解決に向けて行動することができる。</p> <p>⑦自らの生活の在り方を振り返り、実践しようとするすることができる。</p> <p>⑧河童の森や地域の自然を大切にしていこうという思いをもつことができる。</p>
	他者や社会との かかわりに 関すること	<p>【⑨他者理解 ⑩協同 ⑪共生 ⑫社会参画】</p> <p>⑨「こうぬま・水と緑を楽しむ会」の方の河童の森に対する思いを理解することができる。</p> <p>⑩仲間と協力しながら、河童の森をよりよくしていくための取り組みを継続して行うことができる。</p> <p>⑪河童の森の環境とのかかわりを考えて、生活することができる。</p> <p>⑫課題の解決に向けて、「こうぬま・水と緑を楽しむ会」の方々の活動に参加することができる。</p>

6 単元の全体構想（52時間扱い）



「水と緑を楽しむ会」の人とあって、話を聞こう。

つかむ

「水と緑を楽しむ会」の人って何をしているのかな？

河童の森を守っているんだな。

自分たちの力で河童の森をつくっていけるって楽しそうだな。

自分たちは、何ができるかな。

もっと自然を守りたいな。

もっと楽しいところになりたいな。

みんなにこの場所を知ってほしいな。

○課題を立てる。

考える

植物を増やす。

ポスターを作る。

イベントを企画する。

ゴミをなくす。

パンフレットを作る。

河童の像を作る。

「水と緑を楽しむ会」の人にアドバイスをもらおう。

○計画見直し、細案を立てる。

○実践・活動する。

ひらめる

こんなことしたよ。

計画したけど、うまくできなかったな。

もう一度、アドバイスをほしいな。

おもう

「水と緑を楽しむ会」の人にアドバイスをもらおう。

日常生活の中で、環境を守るためにどんなことができるか考えよう。

○計画見直し、細案を立てる。

○実践・活動する。

こんなことしたよ。

家の周りのごみひろいをしたよ。

計画したけど、うまくできなかったら、次の5年生にしてほしいな。

使わない部屋の電気は消すように、家族にも呼びかけたよ。

もっと多くの人に河童の森を知ってもらい、大切にしたいな。

歯をみがくときに、こまめに水を止めるようにしたよ。

かんがえる

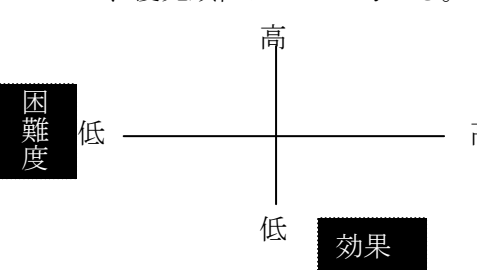
(1) ねらい

- ・河童の森をよりよくするためにやりたいことを分析し、優先順位をつけたり、実践する上で難しいことは何であるかを把握したりすることができる。

(2) 評価の観点

- 仲間と協力しながら、河童の森をよりよくする方法について考えることができる。【協同】
- 座標軸を活用することで、活動する上で難しいことは何であるのかを把握することができる。【収集分析】

(3) 展開

学習活動・内容	評価（◇）と評価方法[] 指導・支援（○）	時間
1 学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">河童の森をよりよくするために、やってみたいことを分析してみよう。</div>		10
2 やってみたいことについてグループで話し合う。 グループ ① きれいにするために ② 植物や動物をさらにふやすために ③ 遊べる場所を増やすために ④ たくさんの人に来てもらうために など	○同じ目的の子ども同士で話し合えるように、事前にグループに分けておく。 ○「目的」、「やってみたいこと」、「どうすればできるのか」という視点で分析できるような短冊を用意する。 ○「どうすればできるのか」を分析する際には、 ①時間 ②人数 ③道具 ④材料 ⑤手続き など、分析する上での視点について、指導する。 ○話し合いの視点がずれないように、机間指導を行う。 ◇仲間と協力しながら、河童の森をよりよくする方法について考えることができる。 [観察・ワークシート]	20
3 全体で話し合いながら、やってみたいことを「効果」と「困難度」の座標軸にまとめ、優先順位について考える。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	○座標軸にまとめる際には根拠を述べさせる。 ○どんな点が困難なのかについて ○全体で話し合い、困難な点はどこなのかについて考えさせる。 ◇座標軸を活用することで、活動する上で難しいことは何であるのかを把握することができる。 [観察]	10
4 本時のまとめをする。	○ワークシートに「今日学んだこと」「これから考えたいこと」について書かせ、発表させる。	5

7B 本時の活動計画（17時間／52時間）

授業者 5年4組 外谷さゆり

(1) ねらい

- ・河童の森をよりよい所にする為に何が出来るか考えたことを伝え、ゲストティーチャーからアドバイスを受け、活動を見直すことができる。

(2) 評価の観点

- 集めた情報から、環境保全や、今後の環境作りなどを考えていくことができる。

【思考判断】

- 河童の森のために自分たちが出来ることを考え、責任をもって意思決定することができる。

【意思決定】

(3) 展開

学習活動・内容	評価(◇)と評価方法[] 指導・支援(○)	時間
1 本時の学習課題を知る。		10
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">河童の森で「何が出来るか」の活動内容を決めよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーの紹介</li> <li>・ゲストティーチャーからのお話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事前打ち合わせの際に「こうぬま・水と緑を守る会」の方に子供たちの考えた活動計画をもとに、分担をお願いしておく。</li> <li>○「河童の森でできること」の内容を振り返ったうえで、「何が出来るか」を確認する。</li> </ul>	
2 事前に考えた活動内容ごとのグループに分かれ、活動計画についてゲストティーチャーからアドバイスを受ける。 活動内容 ① 鳥・植物図鑑を作る ② キャラクター作り ③ ゴミ箱作り ④ 用水路の清掃 ⑤ イベントの手伝い ⑥ ポスターづくり など	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事前に活動案に目を通しておく。</li> <li>○グループ内の小グループごとに、「何を・どんなふうにして・どうやって」をはっきりさせた活動案をゲストティーチャーに聞いてもらうように指示する。</li> <li>○ゲストティーチャーには、子供のアイデアをできる限り生かしたアドバイスをしてもらうようお願いしておく。</li> <li>○ゲストティーチャーのアドバイスを聞いたグループから、活動計画の見直しに取り掛からせる。</li> </ul>	20
3 アドバイスをもとに、活動計画の見直しをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見直しの視点を示したうえで、活動計画を見直させる。 (見直しの視点) ・何ができて、何ができないか ・何が必要か いくつ必要か ・どこでやるか どこで調べるか ・いつやるか</li> <li>○見直しながら新たに生まれた疑問や問題点について、ゲストティーチャーにアドバイスを受けるとよいことを指示する。</li> <li>◇ゲストティーチャーのアドバイス受け、活動計画の見直しをし、河童の森で「何が出来るか」を考えたか。 [観察・活動計画書]</li> </ul>	10
4 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アドバイスを受けてどのように見直せたかを発表させる。</li> <li>◇河童の森のために自分たちが出来ることを考え、責任をもって意思決定することができたか。 [観察・活動計画書]</li> <li>○活動計画の見直しと決定は次の時間引き続き行うことを伝える。</li> </ul>	5



